

商品名 トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」 医薬品基本情報

薬効	4291 その他の抗悪性腫瘍用剤	一般名	トラスツズマブ（遺伝子組換え）注射用（2）
英名	Trastuzumab BS DAIICHI SANKYO	剤型	注射用
薬価	5653.00	規格	60mg 1瓶（溶解液付）
メーカー	第一三共	毒劇区分	

トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」の効能・効果

HER2過剰発現が確認された乳癌、HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌

トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 重篤な心障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 安静時呼吸困難<肺転移・循環器疾患等による>又はその既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
4. 冠動脈疾患又はその既往、狭心症又はその既往、高血圧症又はその既往、心筋梗塞又はその既往、心不全症状、アントラサイクリン系薬剤の前治療歴、胸部への放射線照射との併用、心不全症状又はその既往、左室駆出率<LVEF>が低下、コントロール不能な不整脈、臨床学上重大な心臓弁膜症、安静時呼吸困難<肺転移・循環器疾患等による>又はその既往、抗悪性腫瘍剤を併用	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」の副作用等

1. 好中球減少	記載場所	重大な副作用
2. 心障害、心原性ショック、肺浮腫、心膜炎、Infusion reaction、発熱、悪寒、悪心、嘔吐、疼痛、頭痛、咳嗽、めまい、発疹、無力症、ショック、アナフィラキシー、肺障害、気管支痙攣、重度血圧低下、急性呼吸促進症候群、頻脈、顔面浮腫、眩暈、耳鳴、呼吸困難、喘息、喘鳴、血管浮腫、咽頭浮腫、呼吸不全、非心原性肺浮腫、胸水、低酸素症、死亡、肺線維症、昏睡、脳浮腫、腫瘍崩壊症候群	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

3. 心不全、呼吸困難、起座呼吸、咳嗽、S3ギャロップ、駆出率低下、末梢性浮腫、心嚢液貯留、心筋症、不整脈、徐脈、間質性肺炎、肺炎、アレルギー性肺炎、白血球減少、血小板減少、貧血、黄疸、肝炎、肝障害、腎不全、腎障害、脳血管障害、敗血症	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>重大な副作用</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>5%未満</td> </tr> </table>	記載場所	重大な副作用	頻度	5%未満
記載場所	重大な副作用				
頻度	5%未満				
4. 急性呼吸促進症候群、肝不全	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>重大な副作用</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>0.1%未満</td> </tr> </table>	記載場所	重大な副作用	頻度	0.1%未満
記載場所	重大な副作用				
頻度	0.1%未満				
5. 頭痛、めまい、味覚異常、感覚鈍麻、ニューロパチー、悪心、嘔吐、下痢、食欲不振、口内炎、便秘、腹痛、呼吸困難、咳嗽、鼻出血、発疹、脱毛症、爪障害、皮膚そう痒症、発熱、悪寒、疲労、倦怠感、関節痛、疼痛、浮腫、背部痛、無力症、筋肉痛、胸痛、末梢性浮腫、四肢痛、浮動性めまい、不眠症、錯感覚、上腹部痛、高血圧、しゃっくり、ヘモグロビン減少、手掌・足底発赤知覚不全症候群、皮膚色素沈着障害、皮膚乾燥、腎クレアチニン・クリアランス減少、中毒性ネフロパシー、粘膜炎症、体重減少、脱水、低カリウム血症、低ナトリウム血症、上気道感染、難聴、高クレアチニン血症、口腔カンジダ症、耳鳴、過敏症	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>その他の副作用</td> </tr> </table>	記載場所	その他の副作用		
記載場所	その他の副作用				
6. 運動失調、不全麻痺、しびれ、しびれ感、思考異常、血管拡張、プロトロンビン減少、感覚鈍麻、ニューロパチー、口内乾燥、口腔内潰瘍、鼓腸、ほてり、低血圧、潮紅、鼻乾燥、鼻潰瘍、鼻部不快感、爪破損、皮膚乾燥、皮膚亀裂、帯状疱疹、乳房痛、蜂巣炎、四肢痛、流涙増加、体重増加、冷感、疼痛、粘膜乾燥、霧視、筋骨格硬直	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>その他の副作用</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> </table>	記載場所	その他の副作用	頻度	頻度不明
記載場所	その他の副作用				
頻度	頻度不明				
7. 錯感覚、不眠症、不安、うつ病、傾眠、筋緊張亢進、上腹部痛、消化不良、腸炎、低血圧、頻脈、潮紅、高血圧、動悸、熱感、胸水、喘息、紅斑、皮膚乾燥、蕁麻疹、皮膚炎、斑状丘疹状皮疹、発汗、ざ瘡、AST増加、ALT増加、流涙増加、結膜炎、視力障害、上気道感染、鼻炎、鼻咽頭炎、咽頭炎、副鼻腔炎、胸部不快感、骨痛、頸部痛、尿路感染症、難聴、感染症、頭痛、めまい、振戦、嗜眠、味覚異常、回転性眩暈、悪心、下痢、嘔吐、口内炎、腹痛、便秘、胃炎、リンパ浮腫、呼吸困難、鼻漏、鼻出血、咽喉頭疼痛、咳嗽、気管支炎、爪障害、発疹、皮膚そう痒症、排尿困難、無力症、悪寒、発熱、疲労、関節痛、筋肉痛、インフルエンザ様疾患、末梢性浮腫、背部痛、筋痙攣、粘膜炎症、倦怠感、胸痛、インフルエンザ、浮腫、筋骨格痛、膀胱炎、丹毒、口内乾燥、嚥下障害、起立性低血圧、低アルブミン血症、体重増加	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>その他の副作用</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>5%未満</td> </tr> </table>	記載場所	その他の副作用	頻度	5%未満
記載場所	その他の副作用				
頻度	5%未満				
8. 心不全、重篤な心障害、死亡	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>使用上の注意</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> </table>	記載場所	使用上の注意	頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意				
頻度	頻度不明				
9. 心障害	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>使用上の注意</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> </table>	記載場所	使用上の注意	頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意				
頻度	頻度不明				
10. 腫瘍崩壊症候群	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>使用上の注意</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> </table>	記載場所	使用上の注意	頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意				
頻度	頻度不明				
11. Infusion reaction、アナフィラキシー、肺障害、気管支痙攣、重度血圧低下、急性呼吸促進症候群、死亡、心不全、心障害、羊水過少、胎児腎不全、新生児腎不全、胎児発育遅延、新生児呼吸窮迫症候群、胎児肺形成不全、抗トラスツマブ抗体が出現、急性白血病、骨髄異形成症候群、MDS	<table border="1"> <tr> <td>記載場所</td> <td>使用上の注意</td> </tr> <tr> <td>頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> </table>	記載場所	使用上の注意	頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意				
頻度	頻度不明				

トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」の相互作用

1. 薬剤名等：アントラサイクリン系薬剤投与中

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

2. 薬剤名等：アントラサイクリン系薬剤の前治療歴

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

3. 薬剤名等：胸部へ放射線照射中

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

4. 薬剤名等：アントラサイクリン系薬剤の前治療歴

発現事象 心不全等の心障害があらわれやすい

理由・原因 心不全等の心障害があらわれやすい

投与条件 -

指示 注意

5. 薬剤名等：胸部への放射線照射との併用

発現事象 心不全、心障害

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

6. 薬剤名等：アントラサイクリン系薬剤

発現事象 心障害の発現頻度が上昇

理由・原因 心障害のリスクを増強

投与条件 -

指示 注意

7. 薬剤名等：抗悪性腫瘍剤を併用

発現事象 急性白血病、MDS、骨髄異形成症候群

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

8. 薬剤名等：骨髄抑制を有する抗悪性腫瘍剤

発現事象 発熱性好中球減少の発現率が上昇

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」の配合変化

1. 薬剤名等：ブドウ糖溶液

発現事象 蛋白凝集

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

2. 薬剤名等 : 他剤

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.